

平成27年刊行

消 防 年 報



夕陽のゴジラ岩（潮瀬崎）

秋田県男鹿地区消防一部事務組合

は し が き

この年報は、平成26年中における当管内（男鹿市・潟上市の旧天王町区域・大潟村）の消防現況と業務概要及び統計を収録し、消防行政の現状等を一般に紹介するため編さんしたものであります。

なお、火災・救急救助等の統計は暦年で、その他については会計年度で表しました。

本年報を、地域社会における防災指針の一助として活用していただければ幸いです。

平成27年8月

男鹿地区消防一部事務組合

目

次

【総務】

一目統計	1
組合の沿革	2
組合の位置・管轄区域・消防本部等の配置図	1 1
管轄面積・人口・世帯数	1 2
消防本部等の所在地	1 2
消防庁舎の現況	1 3
消防組織図	1 5
消防本部事務分掌	1 6
消防署事務分掌	1 7
正副管理者・議会議員・幹部職員一覧	1 8
歴代正副管理者・議会議長一覧	1 9
歴代監査委員・収入役・消防長一覧	2 0
平成27年度当初予算	2 1
職員配置状況	2 2
階級別勤続年数別職員数	2 3
階級別年令別職員数	2 4
消防学校等入校状況	2 5
応援協定等の状況	2 6
緊急消防援助隊の登録状況	2 6

【施設】

一目統計	2 7
車両配置状況	2 8
消防水利状況	2 9
消防特殊資器材配置状況	3 0
通信システム構成図	3 2
指令システム概要	3 3
平成26年地区別覚知方法別119番等受信状況	3 4
平成26年月別119番等受信状況	3 4

【予防】

一目統計	3 5
市村別防火対象物数	3 6
階数別防火対象物数	3 7
防火管理者等届出状況	3 8
平成26年度月別建築同意数	3 9
平成26年度工事別建築同意数	4 0
平成26年度広報等活動状況	4 1
平成26年度月別各種届出状況	4 2
平成26年度構成市村別危険物規制数	4 3
平成26年度月別危険物関係処理数	4 4
危険物貯蔵取扱数量	4 5
秋田国家石油備蓄基地の概要	4 6

秋田国家石油備蓄基地建設の経緯	47
男鹿地区防火委員会	49
秋田県優良クラブ表彰／男鹿地区防火委員会会長表彰	50
男鹿地区中学校防火・救急救命弁論大会	51

【火 災】

一目統計（火災概況比較）	53
組合発足以降の火災件数	54
平成26年月別火災状況	55
平成26年市村別火災状況	56
平成26年時間別火災状況	57
平成26年気象別火災状況	58
平成26年市村別出火原因別件数及び損害額	59
平成26年出火原因の分析	60
組合発足以降の主な火災（昭和48年～）	61

【救急・救助】

一目統計（救急概況比較）	65
救急出場件数の推移（昭和48年～）	66
過去5年間の救急出場件数	66
過去5年間の救急搬送人員	66
平成26年月別救急出場状況	67
平成26年署別・市村別救急出場状況	68
平成26年時間別救急出場件数	69
平成26年曜日別救急出場件数	69
平成26年月別ドクターヘリ要請状況	70
平成26年署別ドクターヘリ要請状況	71
平成26年市村別ドクターヘリ要請状況	71
平成26年医療機関別搬送状況	72
平成26年年齢別搬送状況	72
平成26年現場到着所要時間別出場件数	73
平成26年収容所要時間別搬送人員	73
応急手当普及啓発活動実施状況	74
患者等搬送事業乗務員適任証取得講習開催状況	74
平成26年救助活動状況	75

【消防団】

一目統計	77
構成市村消防団長一覧	78
階級別消防団員数	78
消防団施設等保有状況	79
消防団員の階級報酬及び諸手当調	79
構成市村別消防団員年令調	80
構成市村別消防団員勤続年数調	80
構成市村歴代消防団長一覧	81
消防訓練大会成績一覧	82

総務



二ノ目潟（男鹿市）

一 目 統 計

H27. 4. 1

組 合 構 成 市 村	男 鹿 市 湯 上 市 (旧天王町区域) 大 湯 村
管 内 面 積 (2 市 1 村)	4 5 2 . 6 1 K m ²
管 内 人 口 (2 市 1 村)	5 5 , 1 0 2 人
管 内 世 帯 数 (2 市 1 村)	2 3 , 1 3 7 世 帯
組 合 議 会 議 員 数	1 3 名
予 算 額	1 , 4 1 4 , 2 2 1 千 円
本 部 ・ 署 数	1 本 部 1 署 6 分 署

H27. 4. 1

職 員 定 数	1 5 0 名
職 員 実 員 数	1 4 9 名
職 員 平 均 年 令	3 8 . 7 才
職 員 平 均 勤 続 年 数	1 7 . 3 年
救 助 隊 員 数	特別救助隊 1 7 名 救助隊 7 名
水 難 救 助 隊 員 数	1 8 名
消 防 音 楽 隊 員 数	2 4 名

組 合 の 沿 革

【昭和48年】

- 4月 1日 自治省告示第74号をもって政令指定。
- 5月 1日 消防一部事務組合に関する関係市町村長会議で組合規約予算等が決定。
- 5月22日 組合消防に関して若美町臨時議会で議決。
- 5月23日 組合消防に関して天王町臨時議会で議決。
- 5月26日 組合消防に関する規約について大潟村を知事が承認。
- 5月28日 組合消防に関して男鹿市臨時議会で議決。
- 6月 1日 男鹿地区消防一部事務組合が許可される、設立会議を開催。
男鹿市長を管理者とし、1本部、1署、4分署、職員定数80名で
男鹿地区消防一部事務組合が発足。
- 8月29日 日本船舶振興協会より救急自動車が寄贈され天王分署に配置。
- 10月12日 広報車を購入し本署に配置。
- 11月 1日 天王、若美両分署臨時庁舎で開署し消防業務開始。
- 11月12日 男鹿地区中学校防火弁論大会開催（第1回）。
- 11月12日 県補助により広報車を購入し本署に配置。
- 11月30日 組合職員定数条例の一部改正が議決され3名増員（計83名）。
- 11月29日 熊本大洋デパート火災（死者103名）

【昭和49年】

- 3月 7日 消防ポンプ自動車を購入し若美分署に配置（更新）。
- 3月27日 組合職員定数条例の一部改正が議決され2名増員（計85名）。
- 4月 4日 天王分署新庁舎完成。臨時庁舎より移転し業務開始。
- 4月22日 若美分署新庁舎完成。臨時庁舎より移転し業務開始。
- 4月25日 日本損害保険協会より救急自動車寄贈され若美分署に配置（更新）。

【昭和50年】

- 2月28日 化学消防ポンプ自動車を購入し本署に配置。
- 3月29日 組合職員定数条例の一部改正が議決され5名増員（計90名）。
- 4月 1日 日本損害保険協会より寄贈された救急自動車を北分署に配置し、救急業務を開始。

【昭和51年】

- 9月 8日 消防ポンプ自動車を購入し天王分署に配置（更新）。
- 10月 8日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車寄贈され本署に配置。
- 10月29日 酒田市大火（焼失1,767棟）

【昭和52年】

- 3月28日 組合職員定数条例の一部改正が議決され5名増員（計95名）。
- 6月 1日 男鹿地区消防署救助隊発足（10名）。
- 6月17日 救急自動車を購入し若美分署に配置（更新）。
- 7月 6日 日本消防協会より広報車が寄贈され本署に配置。

- 8月 7日 有珠山噴火（死者3名 負傷者2名）

【昭和53年】

1月11日 秋田県共済農業協同組合連合会より救急自動車が寄贈され本署に配置（更新）。

9月 9日 消防ポンプ自動車を購入し本署に配置（更新）。

6月12日 宮城県沖地震 M7.4（死者28名）

【昭和54年】

2月26日 組合職員定数条例の一部改正が議決され7名増員（計102名）。

7月16日 指揮車を購入し本署に配置。

9月 5日 大潟分署開署消防業務開始。

10月28日 救急自動車を購入し大潟分署に配置（更新）。

【昭和55年】

1月20日 川治プリンスホテル火災（死者45名）

【昭和56年】

1月14日～12月24日 男鹿南秋医師会の協力により救急隊員資格取得講習を開催。20名が救急隊員の資格を修得。

1月26日 秋田県共済農業協同組合連合会より救急自動車が寄贈され天王分署に配置（更新）。

12月 1日 表示マーク制度発足に伴い初交付式を行う。

【昭和57年】

2月 1日 職員昇任試験制度を採用。

4月 9日 天王分署旧救急自動車を資機材搬送車に改造し本署に配置。

7月15日 国鉄線路横断ホース側溝を新設。

2月 8日 ホテルニュージャパン火災（死者33名、負傷者34名）

2月 9日 羽田沖日航機墜落事故（死者24名、負傷者149名）

【昭和58年】

2月 1日 秋田トヨタ（株）より広報車が寄贈され本署に配置。

3月15日 大型化学消防車等三点セットを購入し本署に配置。

3月23日 組合職員定数条例の一部改正が議決され10名増員（計112名実員106名）。

6月10日 広報車を購入し本署に配置（更新）。

6月28日 防災車を購入し本署に配置。

9月 1日 日本消防協会より広報車が寄贈され本署に配置（更新）。

9月16日 天王町追分地区の119番専用回線をマルチ方式とする。

10月21日 消防本部、消防署新庁舎起工式。

5月26日 日本海中部地震 M7.7（死者104名）

【昭和59年】

3月27日 消防本部、消防署新庁舎に移転し業務開始。

4月 1日 職員3名採用（実員109名）。

4月 1日 民間防火組織強化を目的に男鹿地区防火委員会が発足。

4月11日 消防本部、消防署新庁舎落成式。

8月25日 田仲自動車（株）より広報車が寄贈され本署に配置。

10月31日 山之内製菓（株）より救急自動車が寄贈され北分署に配置（更新）。

1月16日 東京 世田谷電話局ケーブル火災（加入電話約8万9千回線等途絶）

【昭和60年】

- 4月 1日 職員5名採用（実員112名）。
- 10月21日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車が寄贈され本署に配置（更新）。
- 8月12日 御巢鷹山日航機墜落事故（死者520名、負傷者4名）

【昭和61年】

- 4月 1日 職員1名採用（実員112名）。
- 5月 6日 消防テレホンサービス業務開始。
- 7月 7日 第39回秋田県消防大会を男鹿市で開催。

【昭和62年】

- 3月 1日 消防署庁舎前に泡原液タンク（30KL）完成。
- 4月 1日 職員5名採用（実員112名）。

【昭和63年】

- 3月18日 日本損害保険協会より救急自動車が寄贈され若美分署に配置（更新）。
- 9月 1日 第26回秋田県総合防災訓練を船川地区で開催。
- 12月21日 消防ポンプ自動車を購入し北分署に配置（更新）。

【平成元年】

- 4月 1日 職員4名採用（実員112名）。
- 7月12日 ファクシミリを導入。
- 8月10日 第二指揮車（4WD）を購入し本署に配置。

昭和64年1月7日昭和天皇崩御 1月8日、年号が「平成」と制定される

【平成2年】

- 3月16日 北分署新庁舎に移転し業務開始。
- 3月28日 日本損害保険協会より救急車が寄贈され本署に配置（更新）。
- 5月10日 第27回全国消防長会危険物委員会を男鹿市で開催。
- 6月 1日 地図検索装置支援パソコンを導入。
- 7月30日 第一指揮車を購入し本署に配置（更新）。

11月17日 雲仙普賢岳噴火

【平成3年】

- 2月21日 水槽付消防ポンプ自動車を購入し若美分署に配置（更新）。
- 4月 1日 職員5名採用（実員111名）。
- 7月26日 第一広報車（4WD）を購入し本署に配置（更新）。
- 10月31日 男鹿市防災行政無線遠隔制御装置設置に伴い通信指令室を増築。
- 12月24日 水槽付消防ポンプ自動車を購入し天王分署に配置（更新）。

【平成4年】

- 11月20日 応急処置範囲拡大に伴う資器材を購入し本署に配置。

【平成5年】

- 1月29日 日本自動車工業会より救急自動車が寄贈され天王分署に配置（更新）。
- 2月12日 救助工作車（救助艇付）を購入し本署に配置。
- 3月16日 職員製作によるミニ消防車、ミニ救急車完成。
- 4月 1日 職員2名採用（実員112名）。
- 8月 6日 広報車（軽自動車）2台購入し東分署、大湊分署に配置。
- 9月30日 救急自動車を購入し大湊分署に配置（更新）。
- 11月 1日 消防音楽隊（隊員23名）を編成し活動を開始。
- 12月27日 東分署新庁舎に移転し業務開始。

1 2月28日 組合職員定数条例の一部改正が議決され8名増員（計120名、実員112名）。

7月12日 北海道南西沖地震 M7.8（死者202名、不明28名）

【平成6年】

1月10日 水槽付消防ポンプ自動車を購入し東分署に配置（更新）。
2月21日 秋田県共済農業協同組合連合会より寄贈の救急自動車を東分署に配置し救急業務開始。
3月1日 当組合発足20周年記念誌「組合消防20年の歩み」を発行。
3月25日 応急処置範囲拡大に伴う資器材を購入し、天王分署、若美分署に配置。
4月1日 職員8名採用（実員120名）。
4月1日 応急手当指導員1名を認定し応急手当の普及強化を図る。
6月1日 水難救助隊を編成配置。
6月1日 応急手当指導員3名を認定（計4名）。
7月27日 職員製作のジャンボ防火ちょうちん2基完成。
7月29日 資器材搬送車（クレーン付トラック）を購入し本署に配置（更新）。
10月3日 応急処置範囲拡大に伴う資器材を購入し、北分署、大潟分署に配置。
10月13日 大潟村消防団が、第14回全国消防操法大会ポンプ車の部で準優勝。
12月1日 秋田県広域消防相互応援協定を締結（17消防本部）。

4月26日 名古屋空港中華航空機墜落事故（死者264名、重傷者7名）

【平成7年】

2月28日 防災普及車を購入し本署に配置。
3月20日 大潟分署新庁舎に移転し業務開始。
4月1日 職員の勤務時間見直しにより40時間勤務体制を実施。
4月27日 救急救命士1名誕生。
4月28日 応急手当指導員14名を認定（計18名）。
5月25日 消防職員意見発表全国大会に出場。
6月6日 秋田石油備蓄地中タンク貯蔵所（TK-11、12）の完成検査を実施、備蓄基地全危険物施設の工事が完了。
7月27日 全国消防長会東北支部消防署長会議を当地区にて開催。
8月29日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され大潟分署に配置（増強）。
9月5日 日本消防協会より指令広報車が寄贈され若美分署に配置（更新）。
11月22日 救急救命士1名誕生（計2名）。
11月24日 広報車（4WD）購入し北分署に配置（増強）。

1月17日 阪神大震災（死者6,434名、不明3名）

3月20日 東京地下鉄サリン事件（死者13名、被害者6,000人超）

【平成8年】

1月5日 天王分署ホース架建設（更新）。
1月31日 応急処置範囲拡大に伴う資器材を購入し東分署に配置。
2月9日 消防ポンプ自動車（4WD）を購入し本署に配置（更新）。
2月20日 秋田県共済農業協同組合連合会より救急自動車（4WD）が寄贈され北分署に配置（更新）。
3月29日 情報処理統計調査用パソコン2台導入。

- 4月 1日 職員2名採用（実員120名）。
- 8月28日 日本消防協会平成8年度防災用車両等資機材交付式を当地区で開催。
- 10月 1日 消防職員委員会発足。
- 11月19日 救急救命士1名誕生（計3名）。

12月 6日 長野県蒲原沢土石流災害（死者14名）緊急消防援助隊初出動

【平成9年】

- 1月31日 第1回男鹿地区消防一部事務組合消防職員委員会開会。
- 2月24日 化学消防ポンプ自動車を購入し本署に配置（更新）。
- 3月24日 組合職員定数条例の一部改正が議決され13名増員（計133名、実員119名）。
- 4月 1日 職員8名採用（実員127名）。
- 4月 1日 財務会計システム導入。
- 4月 1日 救急業務高度化推進検討委員会設置。
- 10月 1日 職員6名採用（実員133名）。
- 12月 3日 救急救命士1名誕生（計4名）。

【平成10年】

- 1月29日 高規格救急自動車（4WD）を購入し本署に配置。
- 2月24日 消防ポンプ自動車を購入し天王南分署に配置（新規）。
- 3月10日 救急自動車を購入し若美分署に配置（更新）。
- 3月16日 広報自動車を購入し天王南分署に配置（新規）。
- 3月16日 広報自動車を購入し天王分署に配置（更新）。
- 3月20日 秋田県共済農業協同組合連合会より救急自動車を寄贈され天王南分署に配置（新規）。
- 3月20日 組合職員定数条例の一部改正を議決（計149名）。
- 4月 1日 職員4名採用（実員137名）。
- 4月 1日 天王南分署開署。消防業務開始。
- 4月 1日 本署高規格救急自動車の運用開始。
- 11月12日 救急救命士1名誕生（計5名）。
- 12月25日 組合職員定数条例の一部改正を議決（計150名）。

【平成11年】

- 4月 1日 消防緊急通信指令施設設置（更新）。
- 4月 1日 職員7名採用（実員142名）。
- 4月 1日 職員1名秋田県へ派遣（消防防災航空隊救助隊員）。
- 9月10日 若美分署ホース架建設工事及び庁舎改修工事実施。
- 10月16日 秋田県救急隊員セミナーを当地区で開催。
- 11月 5日 第二指揮車を購入し本署に配置（更新）。

【平成12年】

- 4月 1日 男鹿地区消防一部事務組合手数料条例を制定。
- 4月 1日 職員5名採用（実員144名）。
- 4月 1日 秋田県総合防災情報システムの運用を開始。
- 5月22日 救急救命士1名誕生（計6名）。
- 8月10日 天王分署庁舎改修工事実施。
- 11月21日 救急救命士1名誕生（計7名）。

【平成13年】

- 4月 1日 職員7名採用（実員150名）。
- 6月20日 第一広報車を購入し本署に配置（更新）。
- 7月13日 マンホール救助器具を購入し本署に配置。
- 11月27日 救急救命士1名誕生（計8名）。
- 9月 1日 新宿歌舞伎町「明星56ビル」火災（44名死亡）
- 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件（死者3,025名うち消防職員343名、負傷者6,291名以上）

【平成14年】

- 3月 1日 消防庁よりテロ対応資機材（防毒マスク21式）の貸与を受け、本署及び各分署の救急車に配備。
- 3月19日 天王分署庁舎裏擁壁工事実施。
- 3月28日 消防無線不感地帯解消のため衛星携帯電話を2台購入し運用開始。
- 4月26日 新宿歌舞伎町ビル火災の教訓をふまえ28年ぶりに消防法を大改正。
- 7月 1日 地球温暖化対策実行計画策定。
- 10月24日 大潟村消防団が第18回全国消防操法大会ポンプ車の部で優勝。
- 11月25日 救急救命士1名誕生（計9名）。

【平成15年】

- 1月 1日 男鹿地区消防一部事務組合火災予防条例改正。
- 4月 1日 職員2名採用（実員150名）。
- 4月 4日 救助用水上バイクを購入し本署に配置（新規）。
- 9月28日 出光興産(株)北海道製油所（北海道苫小牧市）特定屋外タンク（ナフサ）
- ～29日 の全面火災に緊急消防援助隊として3点セット（大型高所放水車、大型化学消防車、泡原液搬送車）が出動。
- 10月31日 高規格救急自動車（4WD）を購入し天王分署に配置。
- 11月14日 救急救命士1名誕生（計10名）。
- 12月25日 組合消防発足30周年記念誌を発行。
- 9月26日 十勝沖地震 M8.0（負傷者601名）
- 9月26日 出光興産（株）北海道製油所特定屋外タンク貯蔵所全面火災

【平成16年】

- 2月13日 2B型救急自動車を購入し東分署に配置（更新）。
- 2月13日 大型化学消防自動車ポンプ自動車を購入し本署へ配置（更新）。
- 3月23日 男鹿地区消防一部事務組合火災予防条例を改正。
- 4月 1日 職員2名採用（実員149名）。
- 4月 1日 大型高所放水車、大型化学消防車、泡原液搬送車、化学消防ポンプ自動車、天王救急車を緊急消防援助隊に登録。
- 11月24日 2B型救急自動車を購入し大潟分署に配置（更新）。
- 12月 6日 救急救命士1名誕生（計11名）。
- 12月24日 第1指揮車を購入し本署に配置（更新）。
- 10月23日 新潟県中越地震 M6.8（死者68名、負傷者4,805名）
- 12月26日 スマトラ沖地震 M9.1（死者・行方不明者 約225,000名）

【平成17年】

- 2月 8日 大型高所放水車を購入し本署に配置（更新）。
- 3月22日 市町村合併（旧男鹿市・旧若美町が合併し男鹿市、旧天王町・旧昭和町・旧飯田川町が合併し潟上市）。
- 3月24日 秋田県広域消防相互応援協定に基づき大型高所放水車及び大型化学消防車が、日本大昭和板紙東北㈱（秋田市向浜）カットタイヤビン火災に出動。
- 4月 1日 職員2名採用（実員149名）。
- 4月21日 自動体外式除細動器講習を開催（職員52名受講）。
- 4月28日 自動体外式除細動器講習を開催（職員54名受講）。
- 11月11日 高規格救急自動車（4WD）を購入し若美分署に配置。
- 12月 5日 救急救命士1名誕生（計12名）。
- 12月26日 泡原液搬送車を購入し本署に配置（更新）。
- 4月25日 尼崎JR福知山線列車転覆脱線事故（死者107名、負傷者562名）
- 8月29日 米国ハリケーン「カトリーナ」災害（死者1,836名[8/23~8/31まで]、行方不明者705名）

【平成18年】

- 4月 1日 消防本部に予防課を新設。
- 4月 1日 職員3名採用（実員150名）。
- 4月 1日 若美救急車を緊急消防援助隊に登録。
- 7月 6日 本署及び各分署冷房設備設置工事完成。
- 9月29日 救急高度化資機材を購入し東分署へ配置。

【平成19年】

- 3月 8日 救急救命士による薬剤投与開始。
- 4月 1日 職員6名採用（実員150名）。
- 4月 1日 北1号車を緊急消防援助隊に登録。
- 4月13日 患者等搬送事業者第1号を認定。
- 4月20日 救急救命士1名誕生（計13名）。
- 9月 4日 高規格準抛型救急自動車（4WD）を購入し北分署に配置（更新）。
- 9月29日～10月 9日 秋田わか杉国体開催

【平成20年】

- 4月 1日 職員6名採用（実員152名）。
- 4月10日 救急救命士1名誕生（計14名）。
- 11月11日 高規格救急自動車（4WD）を購入し本署に配置（更新）。
- 12月10日 消防ポンプ自動車（4WD）を購入し北分署に配置（更新）。
- 6月14日 岩手・宮城内陸地震 M7.2（死者17名・行方不明者6名）
緊急消防援助隊出動
- 7月24日 岩手県沿岸北部地震 M6.8（死者1名・負傷者207名）
緊急消防援助隊出動

【平成21年】

- 2月19日 防災普及車を緊急自動車に艀装。
- 3月18日 資機材搬送車を緊急自動車に艀装。
- 3月31日 防災普及車を災害対策車へ名称変更。

- 3月31日 本署救急車、災害対策車を緊急消防援助隊に登録。天王救急車を抹消。
- 4月 1日 職員6名採用。うち、救急救命士1名・女性職員1名。
(実員153名)。
- 4月10日 救急救命士1名誕生(計16名)。
- 7月 3日 水上オートバイを購入し本署に配置(更新)。

【平成22年】

- 2月 1日 救助工作車(Ⅱ型・4WD)を購入し本署に配置(更新)。
- 4月 1日 職員7名採用(実員153名)。
- 4月 1日 救助工作車を緊急消防援助隊に登録。
- 4月13日 救急救命士2名誕生(計18名)。
- 7月30日 広報車を購入し大湯分署に配置(更新)。
- 11月16日 高規格準抛型救急自動車(4WD)を購入し天王南分署に配置(更新)。
- 12月24日 気象観測装置を購入し通信指令室に配置(更新)。

【平成23年】

- 4月 1日 職員8名採用(実員148名)。
- 4月12日 救急救命士2名誕生(計20名)。
- 12月 9日 高所放水車オーバーホール完成。

3月11日 東日本大震災 M9.0(死者15,885名、重軽症者6,148名、警察に届出があった行方不明者2,623名。平成26年4月10日現在)
緊急消防援助隊出動(岩手県、宮城県合計延べ16部隊50名)

【平成24年】

- 2月24日 広報車(4WD)を2台購入し北分署及び天王南分署に配置(更新)。
- 3月14日 消防ポンプ自動車(4WD)を購入し若美分署に配置(更新)。
- 4月 1日 職員7名採用(実員149名)。
- 4月10日 救急救命士2名誕生(計22名)。
- 10月26日 広報車(4WD)を購入し若美分署に配置(更新)。
- 11月22日 秋田県共済農業協同組合連合より寄贈の高規格救急車を天王分署に配置(更新)。

【平成25年】

- 2月28日 水槽付き消防ポンプ車(4WD)を購入し天王分署に配置(更新)。
- 4月 1日 職員5名採用(実員149名)。
- 4月 1日 特別救助隊発足。
- 4月 8日 救急救命士2名誕生(計24名)。
- 6月29日 第66回秋田県消防大会を男鹿市で開催。

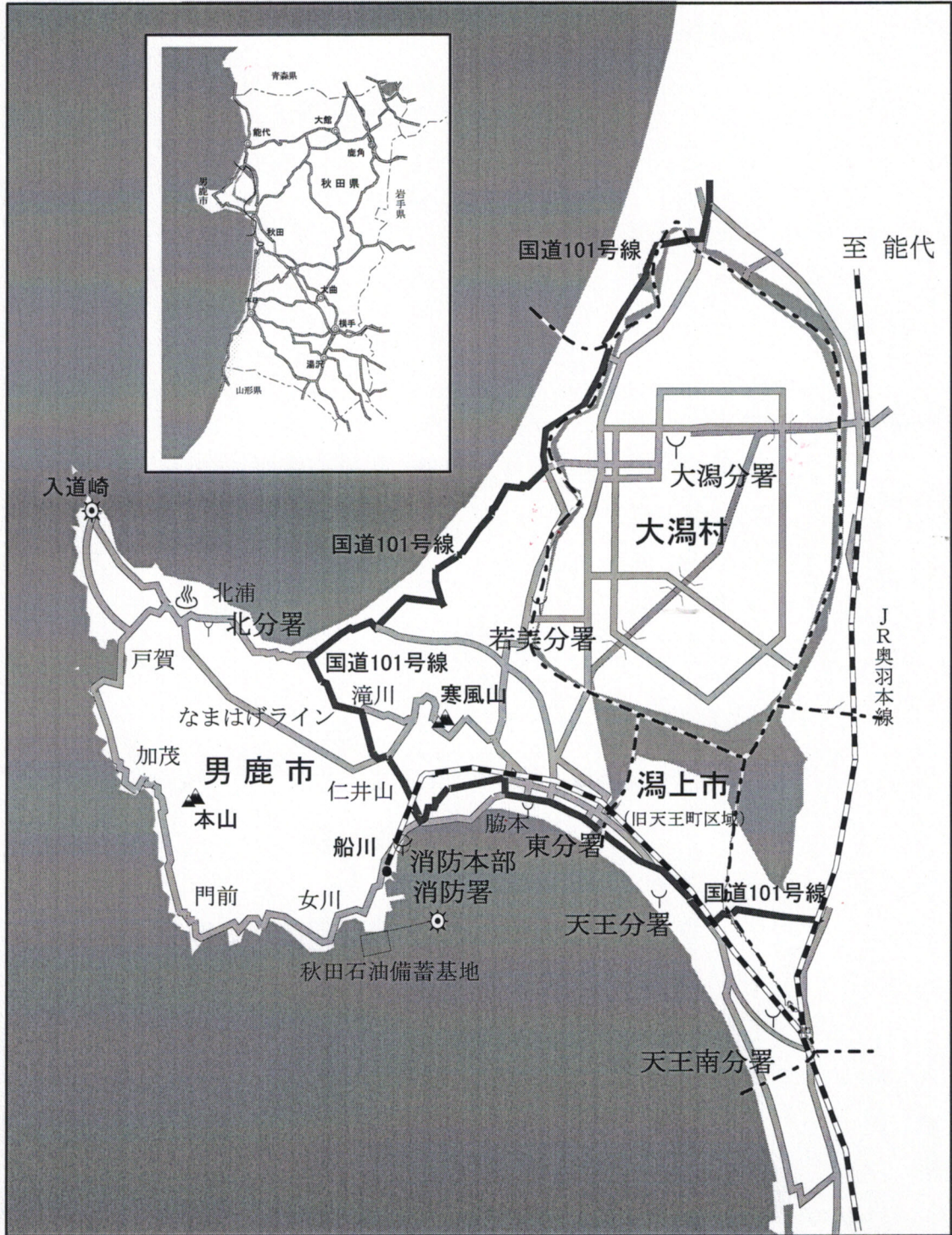
【平成26年】

- 3月31日 救急救命士2名誕生(計26名)。
- 4月 1日 救急救命士の処置拡大に伴い、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保、及び低血糖症例へのブドウ糖溶液投与を開始。
- 7月 1日 高機能消防指令システム運用開始。
- 8月 7日 広報車(4WD)を1台購入し東分署に配置(更新)。
- 10月20日 高規格準抛型救急自動車(4WD)を購入し東分署に配置(更新)。

【平成27年】

- 2月25日 消防ポンプ自動車（4WD）を購入し東分署に配置（更新）。
- 3月31日 救急救命士2名誕生（計28名）。
- 4月 1日 職員5名採用。うち、女性職員の救急救命士1名。
（実員149名）。
- 4月 1日 消防救急デジタル無線運用開始。

組合の位置・管轄区域・消防本部等の配置図



管 轄 面 積 ・ 人 口 ・ 世 帯 数

H 2 7 . 4 . 1

区 分 市 村 別	面 積	人 口	世 帯 数
合 計	4 5 2 . 6 1 K m ²	5 5 , 1 0 2 人	2 3 , 1 3 7 世 帯
男 鹿 市	2 4 1 . 0 9 K m ²	3 0 , 0 3 5 人	1 3 , 2 7 6 世 帯
潟 上 市 (旧天王町区域)	4 1 . 4 1 K m ²	2 1 , 8 5 7 人	8 , 8 3 1 世 帯
大 潟 村	1 7 0 . 1 1 K m ²	3 , 2 1 0 人	1 , 0 3 0 世 帯

資料：構成市村

消 防 本 部 等 の 所 在 地

H 2 7 . 8 . 1

名 称	所 在 地	電 話 番 号 F A X 番 号	郵 便 番 号
消 防 本 部	男鹿市船川港船川字海岸通り 2 号 12-7	0185(23)3139 0185(24)4161	010-0511
消 防 署	男鹿市船川港船川字海岸通り 2 号 12-7	0185(23)3119 0185(22)0202	010-0511
北 分 署	男鹿市北浦北浦字種田 69-3	0185(33)3011 0185(33)3063	010-0683
東 分 署	男鹿市脇本脇本字上谷地 130-1	0185(25)2119 0185(25)2168	010-0342
若 美 分 署	男鹿市鶴木字下潟端 212	0185(46)3119 0185(46)3967	010-0421
天 王 分 署	潟上市天王字蒲沼 99-5	018(878)3434 018(878)7672	010-0201
天王南分署	潟上市天王字北野 1-18	018(872)1119 018(893)3223	010-0201
大 潟 分 署	南秋田郡大潟村字東二丁目 2-2	0185(45)2560 0185(45)2653	010-0442

消 防 庁 舎 の 現 況

【消防本部・本署】

鉄筋コンクリート造2階建
一部鉄骨造3階建
建面積 1,280.558 m²
延面積 1,946.495 m²
敷地面積 2,611.920 m²
建築年月日 昭和59年3月15日
増築年月日 平成26年2月26日
備考 訓練塔



【北分署】

鉄骨造平屋一部4階建
建面積 355.111 m²
延面積 367.567 m²
敷地面積 1,342.090 m²
建築年月日 平成2年3月22日
備考 訓練塔



【東分署】

鉄骨造平屋一部4階建
建面積 399.835 m²
延面積 445.780 m²
敷地面積 1,986.240 m²
建築年月日 平成5年12月22日
備考 訓練塔・副訓練塔



【天王分署】

鉄骨造平屋一部2階建
建面積 250.540 m²
延面積 318.600 m²
敷地面積 1,699.975 m²
建築年月日 昭和49年3月30日
備考 ホース架



【天王南分署】

鉄骨造平屋一部2階建
建面積 425.050 m²
延面積 464.910 m²
敷地面積 3,305.000 m²
建築年月日 平成10年3月20日
備考 ホース架



【若美分署】

鉄骨造平屋一部2階建
建面積 206.080 m²
延面積 274.140 m²
敷地面積 5,224.050 m²
建築年月日 昭和49年3月30日
備考 ホース架

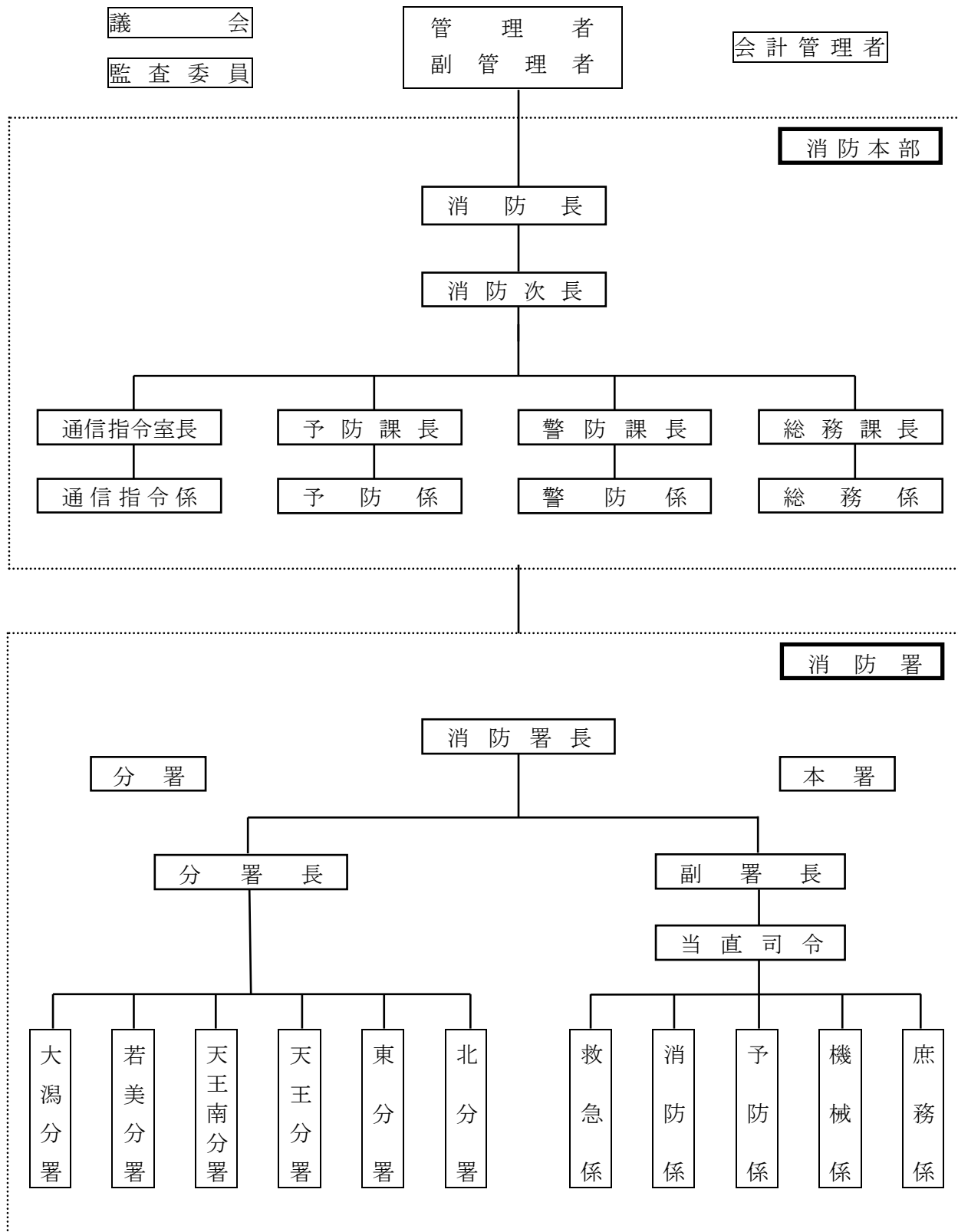


【大湊分署】

鉄骨造平屋一部4階建
建面積 394.130 m²
延面積 402.340 m²
敷地面積 1,639.690 m²
建築年月日 平成7年3月20日
備考 訓練塔



消 防 組 織 図



消 防 本 部 事 務 分 掌

【総務課】

<ol style="list-style-type: none">1. 組織機構に関すること。2. 職員の人事及び給与に関すること。3. 令達及び例規に関すること。4. 職員の福利厚生、教養研修、安全衛生、公務災害補償関係に関すること。5. 文書及び物品の受発に関すること。6. 公印の管理に関すること。7. 組合議会に関すること。8. 予算及び経理に関すること。9. 消防職員委員会に関すること。10. 消防長会及び消防協会に関すること。	<ol style="list-style-type: none">11. 組合構成市村との連絡に関すること。12. 陳情、請願に関すること。13. 渉外、儀式に関すること。14. 服務規律に関すること。15. 安全運転管理に関すること。16. 庁舎及び財産に関すること。17. 機械器具の維持管理に関すること。18. 物品購入、被服品の貸与等に関すること。19. 設備台帳に関すること。20. 消防音楽隊に関すること。21. その他、他の係に属しないこと。
--	---

【警防課】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防計画の策定に関すること。2. 消防、救急、救助に関すること。3. 相互応援に関すること。4. 統計、年報の作成に関すること。5. 訓練に関すること。6. 消防機械器具の改善、研究に関すること。7. 消防部隊運用計画の策定に関すること。8. 消防力の配備計画に関すること。9. 消防関係機関との連絡調整に関すること。	<ol style="list-style-type: none">10. 緊急消防援助隊等に関すること。11. 災害の調査及び報告に関すること。12. メディカルコントロール協議会等に関すること。13. 救急医療機関との連絡調整に関すること。14. 救急救命士及び救急隊員の教育に関すること。15. 救急の搬送証明等に関すること。
--	---

【予防課】

<ol style="list-style-type: none">1. 建築同意事務に関すること。2. 防火管理者に関すること。3. 予防クラブの育成に関すること。4. 予防対策の企画立案及び総合調整に関すること。5. 危険物の規制に関すること。6. 危険物事故等の原因調査及び報告に関すること。7. 予防規程の認可に関すること。	<ol style="list-style-type: none">8. 消防用設備等の規制に関すること。9. 火災原因及び損害調査に関すること。10. 罹災証明に関すること。11. 査察に関すること。12. 違反防火対象物の処理に関すること。13. 火災予防関係例規の制定及び改廃に関すること。14. 予防広報に関すること。
--	---

【通信指令室】

<ol style="list-style-type: none">1. 災害の受付及び出動指令の伝達に関すること。2. 通信施設の整備保全に関すること。3. 火災、気象通報の收受連絡に関すること。4. 電話の交換及び放送の運用に関すること。5. 災害時における防災関係機関との連絡に関すること。	<ol style="list-style-type: none">6. 通信業務資料の記録の整備保存に関すること。7. 無線資格者の教養訓練に関すること。8. 通信統制に関すること。9. その他、通信に関すること。
--	---

消 防 署 事 務 分 掌

【庶務係】

<ol style="list-style-type: none">1. 行事及び会議に関すること。2. 文書及び物品の受発に関すること。3. 福利厚生に関すること。4. 庁舎等の付属施設設備の保守管理に関すること。	<ol style="list-style-type: none">5. 勤務割に関すること。6. 来客の応接に関すること。7. 関係機関及び団体との連絡に関すること。8. その他、他の係に属しないこと。
---	---

【機械係】

<ol style="list-style-type: none">1. 機械器具の整備に関すること。2. 機械関係燃料等に関すること。	<ol style="list-style-type: none">3. 機関員の教養に関すること。4. 消防水利に関すること。
---	---

【予防係】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防用設備等の規制に関すること。2. 防火対象物に関すること。3. 防災規制に関すること。4. 査察に関すること。5. 火災原因及び損害調査に関すること。	<ol style="list-style-type: none">6. 広報に関すること。7. 防火管理者に関すること。8. 催物開催等に関すること。9. 住宅防火に関すること。
--	---

【消防係】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防教養訓練に関すること。2. 非常警備に関すること。3. 消防統計に関すること。	<ol style="list-style-type: none">4. 消防広報に関すること。5. 救助に関すること。6. 救助統計に関すること。
--	--

【救急係】

<ol style="list-style-type: none">1. 救急に関すること。2. 救急統計に関すること。	<ol style="list-style-type: none">3. 応急手当の普及に関すること。
---	---

正副管理者・議会議員・幹部職員一覧

【組合執行機関】

H27.4.1現在

職名	氏名	備考
管理者	渡部 幸男	男 鹿市長
副管理者	石川 光男	潟上市市長
副管理者	高橋 浩人	大潟村長

【組合議長・副議長】

H27.4.1現在

職名	氏名	備考
議長	船木 正博	男 鹿市議会議員
副議長	戸田 俊樹	潟上市議会議員

【消防職員】

H27.4.1現在

職名	氏名	階級
消防長	浅井 学	消防監
消防次長	笹 渕 謙一	消防司令長
総務課長	三 浦 和也	消防司令長
総務課参事	三 浦 勇人	消防司令
警防課長	菅 原 寿	消防司令長
警防課参事	大 場 直樹	消防司令
予防課長	古 仲 秀公	消防司令長
予防課参事	近 藤 重美	消防司令
通信指令室長	平 野 宅悦	消防司令長
消防署長	大 澤 俊博	消防司令長
副署長	荒 関 宏	消防司令
副署長	伊 藤 信一	消防司令
北分署長	仙 北 屋 昭弘	消防司令
東分署長	渡 部 一哉	消防司令
天王分署長	安 田 正人	消防司令
天王南分署長	吉 田 強	消防司令
若美分署長	嶋 宮 博道	消防司令
大潟分署長	関 金 哉	消防司令

歴代正副管理者・議会議長一覧

【管理者】

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	斎藤 久治	S48. 6. 1	S49. 4. 29	旧男鹿市市長
二代	吉田 金忠	S49. 4. 30	S61. 4. 29	〃
三代	菅原 慶吉	S61. 4. 30	H 5. 3. 25	〃
四代	佐藤 一誠	H 5. 5. 19	H17. 3. 21	〃
五代	佐藤 一誠	H17. 4. 17	H21. 4. 2	男鹿市市長
六代	渡部 幸男	H21. 4. 20	現在	〃

【副管理者】

初代	藤原 慶三郎	S48. 6. 1	H 7. 4. 16	旧天王町町長
二代	桜庭 敏朗	H 7. 5. 28	H11. 5. 18	〃
三代	石川 光男	H11. 7. 4	H17. 3. 21	〃
四代	石川 光男	H17. 4. 17	現在	潟上市市長

【副管理者】

初代	嶋貫 隆之助	S48. 6. 1	S53. 9. 4	大潟村村長
二代	宮田 正旭	S53. 9. 5	H12. 9. 4	〃
三代	黒瀬 喜多	H12. 9. 5	H20. 9. 4	〃
四代	高橋 浩人	H20. 9. 5	現在	〃

【副管理者】

初代	渡部 静雄	S48. 6. 1	S51. 5. 4	旧若美町町長
二代	渡部 博志	S51. 5. 5	S55. 5. 4	〃
三代	渡部 静雄	S55. 5. 5	S63. 5. 4	〃
四代	吉田 直儀	S63. 5. 5	H 8. 10. 23	〃
五代	佐藤 文衛	H 8. 12. 8	H17. 3. 21	〃

【議長】

初代	福島 亀蔵	S48. 6. 12	S50. 3. 30	旧男鹿市市議会議員
二代	目黒 晃治郎	S50. 4. 28	S54. 3. 30	〃
三代	加藤 公朗	S54. 5. 15	S58. 4. 21	〃
四代	江畑 与太郎	S58. 6. 6	S62. 4. 25	〃
五代	新出 金市	S62. 6. 1	H 3. 4. 25	〃
六代	福永 宏平	H 3. 5. 17	H 7. 4. 25	〃
七代	杉本 博治	H 7. 6. 5	H 7. 12. 1	〃
八代	船木 慶一	H 7. 12. 22	H11. 4. 25	〃
九代	佐々木 喜久治	H11. 5. 31	H15. 4. 25	〃
十代	小野 健一	H15. 6. 19	H17. 1. 9	〃
十一代	大淵 與吉	H17. 6. 28	H18. 4. 21	男鹿市市議会議員
十二代	高桑 國三	H18. 6. 1	H22. 4. 21	〃
十三代	吉田 直儀	H22. 6. 4	H25. 12. 1	〃
十四代	船木 正博	H25. 12. 9	現在	〃

歴代監査委員・収入役・消防長一覽

【監査委員】（識見を有する者）

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	高橋 金蔵	S48. 6. 12	S52. 6. 11	
二代	栄田 利春	S52. 6. 13	S55. 12. 24	
三代	小澤田 仁助	S55. 12. 27	H 8. 12. 26	
四代	進藤 正	H 8. 12. 26	H16. 12. 26	
五代	木元 誠一	H16. 12. 27	H24. 12. 26	
六代	西方 文太郎	H24. 12. 27		現在

【監査委員】（議員）

初代	京谷 仁太郎	S48. 6. 12	S54. 2. 15	
二代	佐々木 吉男	S54. 2. 26	S56. 6. 8	
三代	三浦 兼吉	S56. 12. 25	S58. 2. 15	
四代	堀井 克見	S58. 3. 23	S62. 2. 15	
五代	丸野内 多助	S62. 3. 23	H 3. 2. 15	
六代	堀井 克見	H 3. 3. 20	H 7. 2. 15	
七代	渡部 喜美雄	H 7. 3. 17	H11. 2. 15	
八代	堀井 克見	H11. 3. 24	H17. 3. 21	
九代	阿部 文夫	H17. 6. 28	H20. 9. 4	
十代	村上 彬	H20. 12. 19	H24. 9. 4	
十一代	川渕 文雄	H24. 12. 25		現在

【収入役】（男鹿市収入役） ※平成19年4月1日より収入役制度廃止

初代	江畑 与太郎	S48. 6. 1	S48. 11. 19	
二代	古仲 士郎	S49. 6. 10	S57. 6. 9	
三代	伊藤 末治郎	S57. 6. 10	S61. 5. 15	
四代	夏井 純治	S61. 5. 23	H 6. 5. 22	
五代	佐藤 忍	H 6. 5. 23	H14. 5. 22	
六代	村岡 賢一	H14. 5. 23	H17. 3. 21	
七代	伊藤 正孝	H17. 5. 10	H19. 3. 31	

【消防長】

初代	渡部 善男	S48. 6. 1	S49. 1. 9	
二代	船木 勘治郎	S49. 1. 10	S49. 6. 30	
三代	鎌田 悦夫	S49. 7. 1	S56. 3. 31	
四代	天野 厚治	S56. 4. 1	S62. 3. 31	
五代	三浦 清司	S62. 4. 1	S63. 9. 30	
六代	伊藤 一太郎	S63. 10. 1	H 2. 3. 31	
七代	大野 晨一郎	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
八代	高桑 芳英	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
九代	坂本 金善	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
十代	笠原 萬良	H 8. 4. 1	H 9. 4. 30	
十一代	佐藤 耕悦	H 9. 5. 1	H11. 3. 31	
十二代	佐藤 學	H11. 4. 1	H13. 3. 31	
十三代	薄田 二三雄	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
十四代	古仲 東一	H14. 4. 1	H17. 3. 31	
十五代	佐藤 政行	H17. 4. 1	H19. 3. 31	
十六代	近藤 利蔵	H19. 4. 1	H22. 3. 31	
十七代	加賀 邦正	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
十八代	天野 正廣	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
十九代	大高 正人	H24. 4. 1	H27. 3. 31	
二十代	浅井 学	H27. 4. 1		現在

平成27年度 当初予算

歳入

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		増 減
	予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	
分担金及び負担金	1,320,799	93.4	1,321,452	94.6	△653
使用料及び手数料	10,810	0.8	14,225	1.0	△3,415
繰越金	1	0.0	1	0.0	0
諸収入	7,011	0.5	6,993	0.5	18
組合債	75,600	5.3	54,700	3.9	20,900
歳入合計	1,414,221	100.0	1,397,371	100.0	16,850

歳出

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		増 減
	予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	
議会費	2,070	0.2	301	0.0	1,769
総務費	138,915	9.8	136,780	9.8	2,135
消防費	1,230,492	87.0	1,209,254	86.6	21,238
公債費	42,444	3.0	50,736	3.6	△8,292
予備費	300	0.0	300	0.0	0
歳出合計	1,414,221	100.0	1,397,371	100.0	16,850

職 員 配 置 状 況

H27. 4. 1

階 級 別		計	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	
所 属 別										
計		149 (5)	1	6	34 (5)	49	22	8	29	
消 防 本 部	消 防 長 消 防 次 長	2	1(日)	1(日)						
	総 務 課	6		1(日)	1(日)	2(日)	2内 1(日)			
	警 防 課	5		1(日)	2内 1(日)	1		1		
	予 防 課	6		1(日)	2内 1(日)	3				
	通 信 指 令 室	8		1(日)	2	3			2	
消 防 署	署 長 副 署 長	3		1(日)	2					
	本 署	当 直 司 令	2			2				
		副 当 直 司 令	5			5				
		庶 務 係	5 (1)			(1)	1		1	3
	分 署	機 械 係	4 (1)			(1)	1	1		2
		予 防 係	4 (1)			(1)	1	1	1	1
		消 防 係	4 (1)			(1)	1	1	1	1
		救 急 係	4 (1)			(1)	1	3		
	分 署	北 分 署	15			3	5	3		4
		東 分 署	15			3	5	3	1	3
		天 王 分 署	15			3	6	2	1	3
		天 王 南 分 署	15			3	6	2	1	3
		若 美 分 署	15			3	6	2	1	3
大 瀨 分 署		15			3	6	2		4	
防 災 航 空 隊 派 遣		1				1				

(日) は日勤・ () は副当直司令が係長を兼務

階級別勤続年数別職員数

H27. 4. 1

階級別 勤続年数	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計	149	1	6	34	49	22	8	29
1年未満	5							5
1～2	0							
2～3	5							5
3～4	7							7
4～5	8							8
5～6	7						3	4
6～7	6					2	4	
7～8	4					3	1	
8～9	5					5		
9～10	3					3		
10～11	2					2		
11～12	2					2		
12～13	2					2		
13～14	0							
14～15	7				6	1		
15～16	4				2	2		
16～17	7				7			
17～18	8				8			
18～19	7				7			
19～20	2				2			
20～21	0							
21～22	8				8			
22～23	2				2			
23～24	0							
24～25	4			2	2			
25～26	0							
26～27	4			3	1			
27～28	0							
28～29	5			1	4			
29～30	1			1				
30～31	5			5				
31～32	7	1		6				
32～33	4			4				
33～34	1		1					
34～35	5			5				
35～36	1			1				
36～37	7		5	2				
37～38	2			2				
38～39	0							
39～40	0							
40～41	2			2				
41～42	0							
平均勤続年数	17.3	31.0	35.5	31.7	18.9	9.5	5.8	2.9

階級別年令別職員数

H27. 4. 1

階級別 年令	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計	149	1	6	34	49	22	8	29
20才未満	3							3
20～21	3							3
21～22	5							5
22～23	3							3
23～24	1							1
24～25	5							5
25～26	5						2	3
26～27	5					1		4
27～28	4					1	3	
28～29	4					1	1	2
29～30	4					3	1	
30～31	6					6		
31～32	4					3	1	
32～33	0							
33～34	4					4		
34～35	2					2		
35～36	4				3	1		
36～37	4				4			
37～38	4				4			
38～39	6				6			
39～40	8				8			
40～41	6				6			
41～42	2				2			
42～43	2				2			
43～44	3				3			
44～45	2				2			
45～46	2				2			
46～47	3				3			
47～48	3			3				
48～49	2			1	1			
49～50	3			3				
50～51	2			1	1			
51～52	2			1	1			
52～53	1			1				
53～54	2			1	1			
54～55	5			5				
55～56	11		1	10				
56～57	3	1		2				
57～58	4		2	2				
58～59	3			3				
59～60	4		3	1				
平均年令	38.7	56.0	57.7	53.6	40.6	30.7	27.4	22.9

消 防 学 校 等 入 校 状 況

H27. 4. 1

機 関 名		年 度 別 計	48	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
			年 〜 11 年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科	4	1											1	1	1			
	予 防 科	6	4			1							1						
	危 険 物 科	3	2															1	
	救 急 科	5	4							1									
	警 防 科	4	2					1				1							
	火 災 調 査 講 習	4	4																
	救 助 科	2		1														1	
救急救命東京研修所		27	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
指導救命士養成研修		1																1	
秋 田 県 消 防 学 校	特 別 教 育	132	64	3	3	3	3	3	3	3	5	5	6	6	6	6	6	7	
	上 級 幹 部 科	4						2	2										
	幹 部 科	19	8								1	1	1	1	2	1	1	3	
	初 級 幹 部 教 育	8	8																
	初 任 科	151	83	5	7	2	2	2	2	3	6	6	6	7	8	7	5		
	予 防 査 察 科	35	23			2				2		1		1		1		5	
	危 険 物 科	8					1		2		2		1		1		1		
	警 防 科	33	14			2	1		2	1	2	1	1	1	1	1	1	5	
	火 災 調 査 科	31	16							2	1	2	1	1	1	1	1	4	
	特 殊 災 害 科	10											1	1	1	1	1	4	
	無 線 通 信 科	9	9																
	機 関 科	自 動 車 ポ ン プ	9	9															
		小 型 ポ ン プ	1	1															
	救 急 科	181	88	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	8	8	9	7	8	7
	救 助 科	27	11			1	1				1	2		1	1	1	2	2	4
救 急 II 課 程	45	45																	

応 援 協 定 等 の 状 況

協 定 書 等 の 名 称	協定年月日	業 務 内 容	協定先機関の名称
船舶火災の消火に関する秋田海上保安部と男鹿地区消防本部との業務協定	昭和44年 11月1日	船 舶 火 災	秋 田 海 上 保 安 部
船舶からの流出油事故対策に関する覚書	昭和47年 8月17日	流 出 油 事 故	秋 田 海 上 保 安 部 秋 田 市
秋田県広域消防相互応援協定	平成6年 12月1日	広域消防業務	秋 田 県 下 消 防 本 部
秋田県消防防災ヘリコプター応援協定	平成11年 4月1日	広域消防業務	秋 田 県 下 消 防 本 部
秋田県沿岸流出油等災害対策協議会	平成16年 4月1日	海洋汚染及び海上災害防止	秋 田 海 上 保 安 部 協 議 会 会 員 7 0 機 関
船川地区における大規模火災等の消火に関する応援協定	平成17年 3月10日	大 規 模 火 災	株 式 会 社 男 鹿 テ ク ノ
消 防 相 互 応 援 協 定	平成17年 3月22日	消 防 相 互 応 援	湖 東 地 区 行 政 一 部 事 務 組 合
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	平成20年 9月17日	鉄 道 災 害	JR 東日本旅客鉄道(株) 秋 田 支 社 盛 岡 支 社
災害時における相互協力に関する協定	平成23年 12月27日	相 互 協 力 協 定	男 鹿 市 署 男 鹿 警 察 署

緊 急 消 防 援 助 隊 の 登 録 状 況

登 録 年 月 日	登 録 車 両
平成27年4月1日	大 型 高 所 放 水 車 大 型 化 学 消 防 車 泡 原 液 搬 送 車 普 通 化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車 高 規 格 救 急 自 動 車 (2台) 救 助 工 作 車 北 1 号 車 災 害 対 策 車